

人間発達心理コース

本コースでは、人間の発達と心理に関する専門的な知識をもとに、子どもの発達を支援するとともに、さまざまな課題を抱える子どもたちの支援を行い、豊かな社会を創造できる人材を養成します。

コースには教育心理学領域、幼児教育領域、臨床心理領域の3つの領域があります。

教育心理学領域では、教育心理学、発達心理学、実験心理学などについて研究を行うとともに、乳幼児期から老年期までの生涯発達の理解を目指します。発達科学に関する高い専門性を身につけ、人や社会に対して客観的な視点を持ち、科学的思考および問題解決ができる人材を育成します。

幼児教育領域では、行政・保育者・保護者・社会にまつわる現代的課題を踏まえて、幼児教育や幼児心理、保育内容の観点から、乳幼児期の健全な発達を保障する教育や保育について研究します。保育に関わるさまざまな現場で、高い専門性を備えて実践をリードできる人材を育成します。

臨床心理領域では、特に、援助専門職(公認心理師および臨床心理士の資格取得、スクールカウンセラー、病院心理士、児童相談所心理判定員等)の人材養成および教育関係者の教育臨床の実践力向上を行います。なお、臨床心理領域は、昼夜間の開講です。

以下、3つの領域について紹介します。

教育心理学領域

教育心理学領域では、「行動科学としての心理学」の観点から、発達、教育、社会、認知・学習、災害、実験心理学領域の研究を進めています。

◆教員・研究室紹介(五十音順)

<伊藤雅隆研究室>

行動分析学を基盤として、青年や成人のメンタルヘルスを改善するための研究を実施しています。現在は、自分自身で心理療法の内容に取り組むための支援方法のあり方についての研究を行っています。

<木暮照正研究室>

研究領域は、主に成人を対象とした教育心理学で、成人発達・成人学習・成人教育を中心に研究しています。これらに関連した実験心理学、認知心理学、社会心理学、サイバー心理学(インターネット・ユーザの心理)、応用心理学的研究も範囲とします。

<住吉チカ研究室>

認知心理学を基盤に、認知機能障害、障害の測定法、機能的転帰を中心に研究を進めています。テキストマイニングなど、新しい解析手法を心理学に取り入れることにも興味を持っています。

<高谷理恵子研究室>

専門は「発達心理学」で、発達に影響を及ぼす諸要因について検討しています。以下のような研究を実施しています。

- ・乳幼児の動きの発達に関する研究
- ・東日本大震災後の福島の子どもたちとその家族のメンタルヘルス研究
- ・子どもの発達を支援するための実践研究

<筒井雄二研究室>

心のはたらきを明らかにするため動物実験を通して脳や神経系の機序と学習行動や記憶との関連性を探る研究を行ってまいりました。学習心理学、実験心理学、神経科学という研究領域です。しかし、東日本大震災以降、原発事故による心理的影響に関する研究に従事し、そこから災害心理学に関する研究を展開させています。研究室に所属する学生は、私の研究テーマにこだわらず、実験や調査をベースとした科学的方法に基づく心理学的研究であれば広く受け入れます。

幼児教育領域

幼児教育領域では、主として幼児教育における子ども理解や保育実践に関するテーマの研究をすすめています。

これまでに在籍していた大学院生は、学類卒業後のストレートマスターもいれば、元保育者もいます。保育や児童福祉に関して調査や研究を行いました。

修了後は、さらに研究を続けたいと他大学の博士課程に進学する人や現場で自分の学んだことを実践に生かしたいと現場に就職した人、短期大学等で後進を育てている人など、進路はさまざまです。

◆教員・研究室紹介(五十音順)

<齋藤美智子研究室>

長年の自身の保育実践をもとに保育について幅広く研究しています。具体的には、①子ども、保護者、保育者3者の関係について、②どの子ども楽しかったと思えるような保育内容について、そして保育者養成について調べています。そこで得た知識・経験は保育・子育て支援講座などで、保育の質の重要性や子育て支援についての提言を行っています。

<原野明子研究室>

乳幼児期の子ども達が遊びの中で試行錯誤しながら学んでいること、経験していることを子どもの行動の中から探ろうとしています。また、共同研究で東日本大震災後の保育やコロナ禍での保育についての調査も行い、制限のある状況の中で、保育するに際し大事にすべきこととは何かを考えています。

<保木井啓史研究室>

2つの研究のテーマで、保育の複雑さ・奥深さを描き出すことを目指しています。第1は、幼稚園・保育所などでの、保育者の意図の裏をかく子どもものしたたかさ、第2は、保育の質の重要な一要素である保育者の専門性です。第1のテーマでは、複数の幼稚園における、朝の会や話し合いなどの集まり場面で子どもが創り出す行動の意味を、W. コルサロの解釈的再生産の理論にもとづいて分析しています。第2のテーマでは、これまでに、忙しい朝の時間帯で発揮される保育者の専門性、園内研修の中での保育者の思考などを検討してきました。

臨床心理領域

臨床心理学は、こころの悩み、問題行動、精神疾患・障害を理解し援助する実践活動にもとづく学問です。そこにはさまざまな臨床活動があります。教育臨床は、児童・生徒、保護者に教育相談を行い、円滑に学校生活を送れるよう支援します。また児童生徒の教育に携わる教員の援助も行います。発達臨床は、子どもの発達上の偏りや遅れを扱います。病院臨床は子どもと成人の精神的な病気や障害を対象にします。少年非行・犯罪、虐待、ひきこもり、子育てなどへの心理臨床的アプローチも重要です。

本領域では、これらの臨床を病院や専門機関での臨床心理実習で学びます。また、人間発達文化学類附属学校臨床支援センターに併設された臨床心理・教育相談室での臨床心理面接、不登校傾向の子どもやその親、また引きこもり傾向の青年やその家族へのグループワークなどにより臨床実践を積み重ねます。

本領域は、第1種の臨床心理士養成大学院として指定されています。また、2018年度からは国家資格である「公認心理師」取得のためのカリキュラムが設けられました。スクールカウンセラー、病院、児童相談所、警察の少年や被害者相談、家庭裁判所調査官、法務省の心理技官・保護観察官・法務教官等の専門家として実践できる人材の養成を行っています。

なお、「公認心理師」の国家試験を受験するためには、大学で公認心理師法に基づくカリキュラムを履修した後、大学院修了または2年以上認定施設で実務経験を経る必要があります。

◆教員・研究室紹介(五十音順)

<青木真理研究室>

スクールカウンセラーの働き方、妊娠期から青年期までの切れ目ないキャリア形成支援、北欧の若者支援、沖縄祭祀などについて関心を持って研究しています。

ゼミ生は教育分野の臨床に関心を持っている人が多く、これまでの修士論文研究には、別室登校の実態調査、思春期の心性についての調査、いじめ防止の心理教育などがあります。

<岸竜馬研究室>

主に思春期・青年期の精神病理に関する心理支援や精神分析的な心理療法や包括システムによるロールシャッハテストなどの心理アセスメントに基づく臨床実践研究を行っています。ゼミ生は思春期・青年期の子どもへの心理教育や医療分野での臨床に関心を持っている学生が多く、「子ども用短縮版対人感受性尺度の作成」、「高校生の対人関係場面における考え方、感じ方がアサーションスキルに与える影響について」青年期における自己への肯定的な関わりについて—セルフ・コンパッションと自己高揚が充実感に与える影響から—」などがあります。

<安部郁子研究室>

児童相談所や児童福祉施設、婦人相談所等、福祉領域でのアセスメントと支援のあり方について研究しています。特に虐待を受けた子どもたちのアセスメントと心理療法、虐待をしてしまう親へのカウンセリングとペアレント・プログラム、DV被害女性とDV家庭で育つ子どもたちの支援を行っています。現在行っている研究は、「社会的教護で育つ子どもたちのリービングケア」で、孤独や孤立を防ぐために支援者と繋がるためのツールとしてのネットワーク作りです。また、東日本大震災以降の福島県の子どもたちの発達についても研究しています。乳幼児から青年期までの発達を支えるための繋がるシステム作りにも関心を持って研究しています。

<市川英雄研究室>

これまでの実践経験を基に、虐待を受けた子どもや障害がある子ども、不登校に悩む子どもたちへの心理支援や、その子どもたちの家族に対する養育支援について研究しています。特に、家庭で育てることが難しい社会的養護を必要とする子どもたちが、再び家庭に戻り、慣れ親しんだ地域で生活することができるための再統合プログラムや、家族再統合が難しく、社会的養護から直接社会に自立しなければならない子どもたちに向けた自立支援プログラムの構築について研究しています。また、家族再統合を行う際に地域がどのように関わり、支援していくのかについて、必要なシステムの構築についても関心を持って研究しています。

<生島浩研究室>

生島 浩(非行・犯罪臨床、家族臨床研究室)

法務省保護観察官の臨床経験をもとに、非行・犯罪からの立ち直り支援、家族を支える視点を重視した家族臨床等を中心とした実践研究を行っています。近年の研究テーマは、1)触法問題を抱えた精神障害者・発達障害者の地域生活支援、2)ハイリスクな子どもと家庭への心理・社会的支援などです。

修了生の臨床実践をまとめた、生島浩編著『福島を起点とした地域心理臨床—システムズ・アプローチの展開—』(シーズ出版、2021)を参照してください。

大学HP <https://hdc.educ.fukushima-u.ac.jp/wp-t/uploads/2021/11/pdf>